ホタテガイ増養殖安定化推進事業 ホタテガイ垂下養殖実態調査 – I (2023 年 5 月)

色川七瀬・小谷健二・遊佐貴志・山内弘子

目 的

陸奥湾におけるホタテガイの垂下養殖の実態を把握し、適正養殖を推進することを目的に、1977 年 10 月以降、陸奥湾の各漁協が春秋の 2 回実施している調査のうち、2023 年 5 月に行われた春季調査結果を報告する。また、北海道の噴火湾で養殖ホタテガイに大量に付着し、漁業被害を及ぼしているヨーロッパザラボヤ¹⁾について、陸奥湾での生息状況を調査する。

材料と方法

1. 養殖貝成育状況調査

2023 年 5 月 15 日から 18 日にかけて陸奥湾沿岸にある 10 漁業協同組合及び12 支所のホタテガイ養殖経営体から 約 5%に相当する 46 経営体を無作為に抽出し、2022 年産 貝を対象に、各経営体の延縄式ホタテガイ養殖施設 2 か統から垂下された養殖資材(図 1、表 1)を各 1 連採取する とともに、各養殖施設で隣接して垂下されている 2 連を無作為に 1 箇所抽出し、その連間隔を測定した。

各資材で養殖される1連分の2022年産貝は、へい死貝の割合を求めるとともに、生貝から無作為に抽出した50個体について異常貝の有無を目視観察し、さらに20個体について殻長、全重量、軟体部重量を測定した。異常貝

は、小谷ら²⁾ 及び小泉ら³⁾ の方法に従って計数した。また、養殖資材 1 連に収容された養殖貝の個体数と連間隔の値から、養殖施設の幹綱 1m 当りの収容密度を求めた。以上の結果を 1985 年度から 2022 年度 までの過去 38 年間の平均値(以下、平年値と称す)と比較した。

ョーロッパザラボヤは、パールネット1連分のうち中央部の1段について、資材と収容された養殖貝に付着した個体数を計数した。

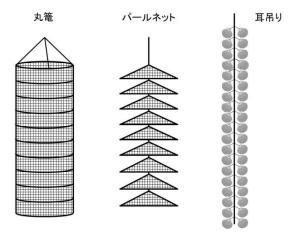


図 1. 養殖資材の模式図

表 1. 養殖資材別の調査連数 養殖資材 調査連数*¹ パールネット 58 (58) 耳吊り 27 (31) 丸篭 5 (3) 合計 90 (92)

*1の()内は前年度

2. 養殖数量、稚貝採取及び利用計画調査

2023年5月に、陸奥湾で養殖されているホタテガイの個体数を把握するため、陸奥湾の全ホタテガイ養殖経営体から、2023年4月30日における2021年産及び2022年産貝の販売済み数量と養殖方法別保有数量を聞き取りした。

また、経営体による稚貝の採取予定と利用計画を把握するため、陸奥湾の全ホタテガイ養殖経営体から、2023 年 4 月 30 日における 2023 年産貝の採苗予定数量及び利用計画数量を聞き取りした。

結 果

1. 養殖貝成育状況調查

これまでのへい死率、異常貝出現率の推移を図 2 及び付表 1-1、1-2 に、2023 年度の漁協、支所及び養殖方法別の春季調査結果を付表 2-1、2-2 に、養殖方法別の殻長、全重量、軟体部重量、軟体部指数、幹綱1m 当りの収容密度の推移を図 3~7 に示した。また、1985 年以降の養殖方法別の調査結果の推移を付表 3-1~3-4 に示した。

(1)へい死率

へい死率の全湾平均は 4.1%で平年値 4.9%並みであった。養殖方法別のへい死率は、パールネットが 4.2%、耳吊りが 4.7%、丸篭が 1.2%と各々の平年値 5.7%、3.4%、2.3%と比べ、パールネットと丸篭 が各々1.5 ポイント、1.1 ポイント低く、耳吊りが 1.3 ポイント高かった。

漁協、支所及び養殖方法別のへい死率は、後潟、平内町東田沢のパールネットが各々11.2%、10.0%、横浜町の耳吊りが10.3%で10%以上の値を示した。その他、養殖方法別の平年値を上回った地区を高い順に見ると、パールネットでは青森市青森、青森市造道、平内町茂浦、青森市奥内、青森市原別で各々6.9%、6.7%、5.0%、4.8%、4.6%、耳吊りでは平内町東田沢で4.7%であった。

(2) 異常貝出現率

異常貝出現率の全湾平均は 1.8%で平年値 4.4%並みであった。養殖方法別の異常貝出現率は、パールネットが 1.3%、耳吊りが 3.6%、丸篭が 1.9%と各々の平年値 4.2%、4.2%、6.0%と比べると、各々パールネットが 2.9 ポイント、耳吊りが 0.6 ポイント、丸篭が 4.1 ポイント低かった。

漁協、支所及び養殖方法別の異常貝出現率は、青森市造道、青森市原別のパールネットが各々45.7%、11.0%と10%以上の値を示した。その他、養殖方法別の平年値を上回った地区を高い順に見ると、パールネットでは青森市久栗坂、平内町小湊、野辺地町で各々6.0%、2.4%、1.9%、耳吊りでは平内町清水川、東田沢、小湊、野辺地町、横浜町で各々7.6%、4.3%、4.0%、3.1%、2.6%、丸篭ではむつ市で2.0%、であった。

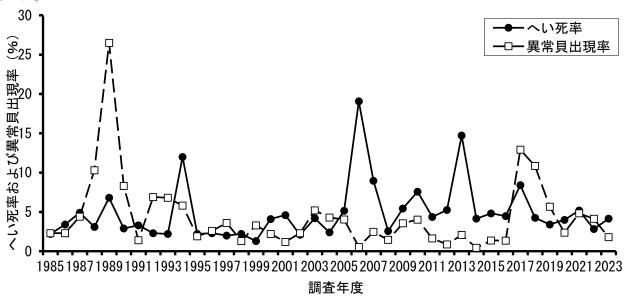


図 2. へい死率及び異常貝出現率(全湾平均)の推移

(3)成長

競長、全重量、軟体部重量、軟体部指数の全湾平均は、各々7.6cm、46.7g、18.0g、38.4といずれも各々の平年値7.4cm、46.2g、18.1g、38.9 並みだった。

養殖方法別の殼長と全重量の全湾平均は、パールネットが殼長7.6cm、全重量45.4g、耳吊りが殼長7.5cm、

全重量 51.8g、丸篭が殻長 7.2cm、全重量 47.8g であった。漁協、支所及び養殖方法別に見ると、青森市奥内のパールネットが 8.3cm、全重量は、青森市奥内のパールネットが 58.2g と最も高い値を示した。一方で、青森市造道のパールネットで 6.5cm、32.7g と最も低い値を示した。

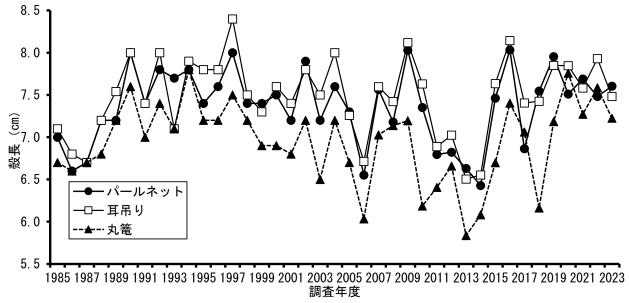


図3. 養殖方法別殼長(全湾平均)の推移

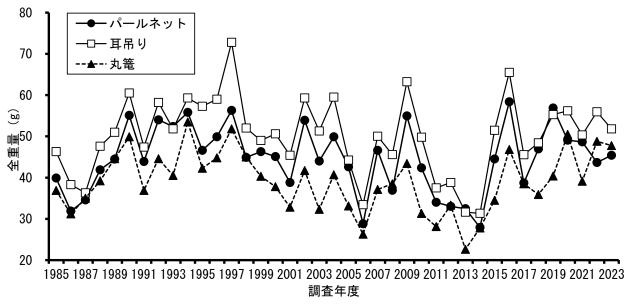


図 4. 養殖方法別全重量(全湾平均)の推移

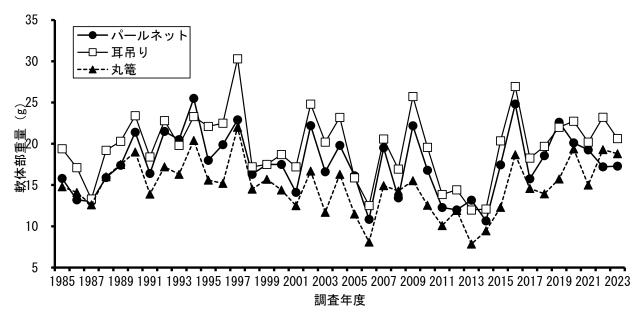


図 5. 養殖方法別軟体部重量(全湾平均)の推移

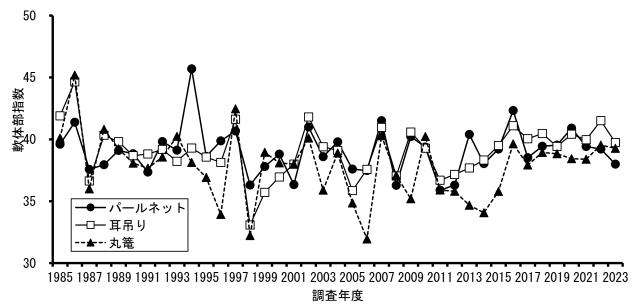


図 6. 養殖方法別軟体部指数(全湾平均)の推移

(4)収容枚数

連間隔の全湾平均は 34.4cm と、平年値 38.8cm に比べ 4.4cm 狭く、1985 年以降 16 番目に狭かった。 幹綱 1m 当りの収容枚数の全湾平均は 623 枚/m と、平年値 552 枚/m と比べ 71 枚多く、1985 年以降 15 番目に多かった。

養殖方法別の収容枚数は、パールネットが 649 枚/m、耳吊りが 474 枚/m、丸篭が 768 枚/m と各々の平年値 571 枚/m、513 枚/m、455 枚/m と比べ耳吊りは 39 枚少なく、パールネットと丸篭は各々78 枚、313 枚多かった。漁協、支所及び養殖方法別では、平内町浦田のパールネットが 1,159 枚/m と 1,000 枚/m を超えていた。

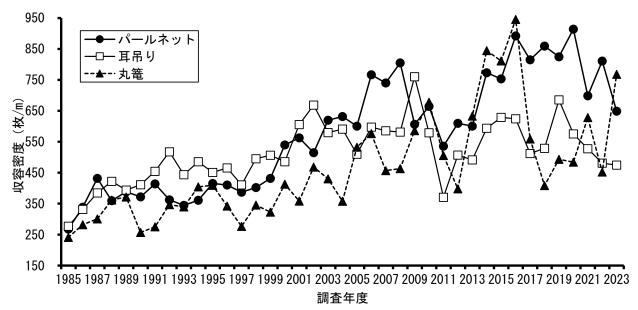


図 7. 養殖方法別幹綱 1m 当りの収容枚数 (全湾平均)の推移

(5) ヨーロッパザラボヤの付着状況

表 2 にヨーロッパザラボヤの付着状況を示した。養殖資材 62 連分を調査した結果、ヨーロッパザラボヤの付着は野辺地町及びむつ市で見られ、付着密度は各々0.5 個体/段、1.5 個体/段であった。養殖資材 1 段当りのヨーロッパザラボヤの付着密度は、全湾平均で 0.06 個体/段と少なかった。

2. 養殖数量調査結果、稚貝採取予定数量及び利用計画

養殖数量調査結果を付表 4、5 に、稚貝採取予定数量及び 利用計画を付表 6 に示した。

(1) 養殖数量調査結果

2023 年 4 月 30 日における陸奥湾全体の 2021 年産貝の保 有枚数は、成貝用が 5,926 万枚であった。また、販売済み 数量は、稚貝が 1,110 トン、半成貝が 60,332 トン、新貝が 11,285 トン、成貝が 7,763 トンであった。

2023年4月30日における陸奥湾全体の2022年産貝の保有数量は、半成貝用が6億8,429万枚、新貝用が1億5,212万枚、成貝用が1億5,088万枚の合計9億8,730万枚であった。また、1,206万枚が地まき放流された。

(2) 稚貝採取予定数量及び利用計画

2023年産貝を採苗する予定の総経営体数は852経営体であった。2023年産貝の採苗予定数量は22億2,255万枚で、1経営体当りの平均採苗予定数量は261万枚であった。採苗した後の利用計画は、養殖用が17億5,895万枚、移出用が800万枚、地まき用が1,538万枚であった。養殖用の内訳は、半成貝向けが11億6800万枚(66%)、新貝向けが2

表 2. 養殖資材 1 段当りのヨーロッパザラボヤの付着状況

1 1 17 13 14 17 17 17		
漁協・支所	調査連数	平均付着密度 (個体/段)
外ヶ浜平舘	2	0.00
がケ洪 蟹田	4	0.00
蓬田村	4	0. 00
後潟	2	0. 00
奥内	2	0. 00
油川		0.00
青森	2	0.00
森 造道	2 2 2 2	0.00
市原別	2	0.00
野内	2	0.00
久栗坂	1	0.00
土屋	4	0.00
平 茂浦	4	0.00
内 油田	4	0.00
町 東田沢	4 3 6	0.00
^呵 <u>小湊</u>	6	0.00
清水川	5	0.00
野辺地町	2	0. 50
横浜町* ¹	0	_
むつ市	2	1. 50
川内町	4	0.00
脇野沢村	1	0.00
計(平均)	62	0.06
11は調本社会か	1	

^{*1}は調査対象なし

億6,312万枚(15%)、成貝向けが3億2,784万枚(19%)となっていた。

考 察

1. ホタテガイ

(1) 貝の状況

今回の調査対象である 2022 年産貝の 2022 年秋季における分散済み稚貝の測定結果をみると、へい死率及び異常貝出現率は各々3.9%、1.2%と平年値4.6%、3.1%並みで4)、今回の調査でへい死率、異常貝出現率及び全重量はともに平年並みだった。しかし、殻長及び全重量は秋の時点で2.4cm、1.6gといずれも平年値2.7cm、2.4gをやや下回っていた4)が、今回の調査では

表 3. 2023 年産貝の調査結果平年比較2022年秋季 2023年春季へい死率 並み異常貝率 並み殻 長 やや小さい全 重 量 やや軽い

殻長 7.6cm、全重量 46.7g と平年値 7.4 cm、46.2g 並みまで回復していた。その要因として水温が 3 月中旬以降高めに推移したことにより貝の摂餌行動が活発となったことが考えられる。

(2) 施設の状況

連間隔は、2022年より改善され、幹綱 1m当りの収容枚数は 2014年度以来 9年ぶりに 700 枚を下回った ものの、依然として平年値より多い状態が続いている。

連間隔が狭く、1つの養殖施設に垂下する養殖篭が増え、施設 1 か統の総重量が重くなると、浮玉の追加による浮力調整が難しくなることから、過剰浮力が生じ波浪や流れの影響を受けやすくなる。その影響でホタテガイが養殖篭に擦れたり、ホタテガイ同士の噛み合わせが生じるたりすることにより軟体部が損傷し、異常貝が出現する危険性が高くなる。

また、1 段当りの収容枚数が多い場合も、同様に異常貝の増加につながるリスクが高まることから、漁業者は連間隔や収容枚数の適正化を図る必要がある。

(3) 移入の影響について

2022 年秋季調査における分散済み稚貝の測定結果では、採取時に他地区から移入した稚貝が、7 サンプルと少なかったものの、地種(移入無し)に比べてへい死率が高く成長が悪い傾向が見られた。しかし、今回の調査では移入の有無による差が見られなかったため、稚貝の移入時に昇温や乾燥に注意し、その後の養殖管理が適切であれば、生残や成長への影響は少なく、移入は有効であると考えられる。

調査時期	移入の 有無	サンプル 数	へい死率 (%)	異常貝率 (%)	殻長 (cm)	全重量 (g)
2022年	移入無し	65	3. 9	1.8	2. 2	1.4
秋季	移入有り	7	8. 7	1.4	1. 9	0.8
2023年	移入無し	69	4. 4	1. 7	7. 6	46. 7
春季	移入有り	21	3. 0	2. 2	7. 6	46. 7

表 4. 移入の有無別測定結果

2. ヨーロッパザラボヤ

今回の調査では、ヨーロッパザラボヤの付着密度は全湾平均で 0.06 個体/段であった。陸奥湾では、これまでヨーロッパザラボヤによる漁業被害は認められておらず、2009 年以降、0.00~1.20 個体/段と非常に低い値を維持している。しかし、噴火湾において、ヨーロッパザラボヤがホタテガイに大量付着するとホタテガイの成長に悪影響を及ぼすことが明らかとなっており 5)、陸奥湾も同様の事態になる可能性があることから、今後ともモニタリングを継続する必要がある。また、パールネット等にヨーロッパザラボヤの付着

が確認された場合は、分散作業等の際、再生産させないよう海に戻さず陸上で処分する必要がある。

文 献

- 1) 菅原理恵子 (2009) 耳吊ホタテにザラボヤが大量付着!. 北水試だより, 78, 22.
- 2) 小谷健二・吉田達・山内弘子・森恭子 (2018) ホタテガイ増養殖安定化推進事業 ホタテガイ垂下養殖 実態調査-I. 平成 28 年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 247-262.
- 3) 小泉慎太朗・吉田雅範 (2022) 物理的衝撃及び鰓の損傷が与えるホタテガイへの影響. 2020 年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 390-395.
- 4) 遊佐貴志・小谷健二・佐藤慶之介・山内弘子 (2022) ホタテガイ増養殖安定化推進事業 ホタテガイ垂下養殖実態調査 II. 2022 年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 283-291.
- 5) 菅原理恵子・馬場勝寿 (2010) 養殖ホタテガイの成長モニタリング調査. 北海道立函館水産試験場事業報告書,34-37.

付表1-1. 春季調査におけるへい死率の推移(前年産貝)

区分	調査年度	上磯地区	青森地区	平内地区	上北地区	下北地区	全湾平均
	2023	2.0 (1.7 ~ 2.4)	4.9 (0.5 ~ 11.2)	4.7 (1.3 ~ 10.0)	6.6 (1.3 ~ 10.3)	0.9 (0.0 ~ 1.3)	4.1 (0.0 ~ 11.2)
	2022	2.0 (0.5 ~ 5.8)	2.6 (1.0 ~ 4.6)	$3.4 (0.6 \sim 6.9)$	3.2 (1.8 ~ 4.7)	2.3 (1.1 ~ 3.8)	$2.8 (0.5 \sim 6.9)$
	2021	$8.0 (3.5 \sim 12.9)$	$7.0 \ (1.4 \sim 12.6)$	$3.3 (1.8 \sim 4.1)$	$3.9 (3.1 \sim 4.5)$	$1.7 (0.3 \sim 2.8)$	$5.2 (0.3 \sim 12.9)$
	2020	$2.7 (0.6 \sim 4.1)$	6.3 ($0.7 \sim 21.4$)	$4.5 (1.9 \sim 8.6)$	$2.0 (1.9 \sim 2.0)$	$0.5 (0.0 \sim 0.9)$	$4.0 (0.0 \sim 21.4)$
	2019	$4.0 (3.3 \sim 4.9)$	$5.1 (0.7 \sim 14.6)$	$3.9 (2.8 \sim 5.0)$	$0.8 (0.5 \sim 1.1)$	$1.1 (0.5 \sim 1.8)$	$3.4 (0.5 \sim 14.6)$
	2018	7.1 (4.6 ~ 8.9)	4.5 (0.6 ~ 13.2)	$4.0 (1.1 \sim 7.5)$	1.0 (0.8 ~ 1.4)	0.3 (0.0 ~ 0.5)	4.3 (0.0 ~ 13.2)
	2017	$14.4 (7.8 \sim 19.0)$	$21.0 (1.4 \sim 58.0)$	4.6 (1.6 ~ 15.8)	$1.0 (0.9 \sim 1.2)$	$1.0 (0.0 \sim 2.5)$	$8.4 (0.0 \sim 58.0)$
	2016	$9.1 (3.9 \sim 15.9)$	$8.2 (0.3 \sim 16.5)$	$3.7 (2.1 \sim 5.0)$	2.3 (1.1 ~ 3.9)	$1.4 (0.5 \sim 2.6)$	$4.5 (0.3 \sim 16.5)$
	2015	$9.4 (7.3 \sim 13.3)$	8.7 (1.1 ~ 14.5)	4.1 (1.9 ~ 9.3)	$1.7 (1.5 \sim 2.0)$	$0.4 (0.0 \sim 0.8)$	$4.8 (0.0 \sim 14.5)$
	2014	$3.7 (3.3 \sim 4.1)$	$4.4 \ (1.6 \sim 5.4)$	5.8 (3.2 ~ 8.8)	$2.1 (0.9 \sim 3.0)$	$1.1 (0.0 \sim 2.3)$	$4.5 (0.0 \sim 8.8)$
	2013	$24.3 (6.1 \sim 33.8)$	$25.1 (4.3 \sim 32.8)$	$13.4 \ (3.1 \sim 39.4)$	$4.1 (1.3 \sim 7.0)$	$1.1 (0.1 \sim 3.8)$	$14.7 (0.1 \sim 39.4)$
	2012	$2.5 (1.5 \sim 3.0)$	$18.4 \ (3.8 \sim 33.7)$	$3.2 (1.1 \sim 5.3)$	$1.2 (0.8 \sim 1.5)$	$0.3 (0.2 \sim 0.4)$	$5.3 (0.2 \sim 33.7)$
	2011	$3.1 (2.4 \sim 4.9)$	$4.0 (0.0 \sim 11.5)$	$6.4 (2.9 \sim 10.8)$	$1.4 (1.2 \sim 1.6)$	$0.4 (0.0 \sim 2.4)$	$4.4 (0.0 \sim 11.5)$
	2010	15.4 (4.2 \sim 22.4)	$11.5 (0.5 \sim 26.7)$	4.5 (1.5 ~ 8.6)	$3.4 (1.6 \sim 5.1)$	$1.3 (0.0 \sim 2.0)$	$7.6 (0.0 \sim 26.7)$
	2009	7.7 (6.0 \sim 8.6)	$4.2 (0.0 \sim 7.5)$	$6.7 (1.9 \sim 16.1)$	$2.4 (1.1 \sim 3.7)$	$0.9 (0.2 \sim 0.9)$	$5.4 (0.0 \sim 16.1)$
	2008	$5.3 (4.2 \sim 6.7)$	$4.1 (0.0 \sim 7.7)$	$2.1 (0.8 \sim 4.3)$	1.0 (0.8 ~ 1.1)	$0.8 (0.3 \sim 4.5)$	$2.6 (0.0 \sim 7.7)$
	2007	7.2 (6.1 \sim 10.3)	$23.7 (2.2 \sim 40.1)$	7.1 ($2.1 \sim 20.5$)	$0.7 (0.6 \sim 0.8)$	$1.1 (0.4 \sim 3.1)$	$9.0 (0.4 \sim 40.1)$
	2006	$46.6 (32.9 \sim 52.6)$	$14.0 \ (2.1 \sim 29.3)$	$22.2 (5.9 \sim 39.2)$	6.9 (4.6 \sim 9.2)	$5.6 (0.0 \sim 10.1)$	19.1 ($0.0 \sim 52.6$)
	2005	$12.0 \ (11.1 \sim 16.8)$	$5.8 (0.0 \sim 16.1)$	$3.3 (1.1 \sim 5.9)$	$3.3 (3.0 \sim 3.4)$	$1.3 (0.2 \sim 4.3)$	$5.1 (0.0 \sim 16.8)$
	2004	$7.5 (5.3 \sim 11.4)$	$1.2 (0.0 \sim 4.0)$	$1.7 (0.5 \sim 2.5)$	$1.1 (0.8 \sim 1.4)$	$2.5 (0.0 \sim 6.4)$	$2.4 (0.0 \sim 11.4)$
	2003	$1.5 (1.8 \sim 2.5)$	$2.5 (0.4 \sim 5.6)$	$3.2 (2.6 \sim 3.4)$	$4.6 (3.2 \sim 6.3)$	19.9 ($5.5 \sim 33.3$)	4.2 (0.4 ~ 33.3)
^	2002	$0.9 (0.1 \sim 2.6)$	0.3 (0.0 ~ 0.6)	$2.2 (0.0 \sim 6.5)$	$2.1 (1.7 \sim 2.5)$	$3.3 (0.0 \sim 11.3)$	$2.1 (0.0 \sim 11.3)$
	2001	$3.2 (2.1 \sim 5.1)$	$3.5 (0.0 \sim 4.9)$	6.7 (4.5 \sim 8.7)	$5.4 (4.7 \sim 5.9)$	$1.7 (0.6 \sim 2.7)$	4.6 (0.0 ~ 8.7)
V	2000	$5.6 (2.5 \sim 9.5)$	4.1 (1.9 ~ 11.1)	$5.4 (1.8 \sim 4.7)$	$2.5 (2.0 \sim 3.0)$	$0.7 (0.0 \sim 0.8)$	$4.1 (0.0 \sim 12.4)$
	1999	$2.0 (0.0 \sim 3.6)$	$0.9 (0.2 \sim 2.9)$	1.3 (0.0 \sim 4.7)	$1.3 (0.9 \sim 1.6)$	$0.3 (0.0 \sim 0.6)$	1.3 (0.0 \sim 4.7)
死	1998	$2.5 (1.2 \sim 3.8)$	$2.0 (0.4 \sim 9.1)$	2.1 (1.1 ~ 3.0)	$3.5 (3.2 \sim 3.8)$	$0.7 (0.3 \sim 0.9)$	$2.2 (0.3 \sim 9.1)$
	1997	1.3 ($0.8 \sim 2.0$)	$1.1 (0.0 \sim 1.3)$	$3.3 (1.2 \sim 7.7)$	1.6 (1.4 ~ 1.9)	1.1 (0.3 ~ 1.6)	$2.0 (0.0 \sim 7.7)$
率	1996	$2.4 (0.7 \sim 3.3)$	$1.7 (0.0 \sim 7.5)$	$1.9 (0.2 \sim 12.8)$	$3.8 \ (1.9 \sim 6.0)$	$2.3 (0.0 \sim 10.8)$	$2.3 (0.0 \sim 12.8)$
	1995	$1.6 (0.2 \sim 3.3)$	1.3 $(0.0 \sim 4.9)$	$2.8 (0.4 \sim 5.6)$	$1.7 (1.7 \sim 1.8)$	$2.4 \ (1.6 \sim 4.3)$	$2.2 (0.0 \sim 5.6)$
(%)	1994	$5.5 (3.5 \sim 9.1)$	$14.7 (6.7 \sim 40.0)$	15.6 (13.0 \sim 17.2)	9.6 (6.3 \sim 12.8)	6.5 ($0.0 \sim 20.0$)	12.0 ($0.0 \sim 40.0$)
	1993	$1.4 (0.9 \sim 1.8)$	$2.3 (0.4 \sim 0.4)$	$2.6 (0.6 \sim 3.2)$	$2.5 (2.0 \sim 3.0)$	$2.1 (0.7 \sim 1.0)$	$2.2 (0.4 \sim 3.2)$
	1992	$1.4 (0.7 \sim 1.7)$	$2.2 (1.1 \sim 6.8)$	2.8 (1.8 ~ 4.6)	$3.3 (3.3 \sim 3.4)$	1.3 ($0.8 \sim 1.9$)	$2.3 (0.7 \sim 6.8)$
	1991	$0.5 (0.2 \sim 0.7)$	$1.4 (0.0 \sim 3.9)$	5.8 (1.8 ~ 8.8)	1.7 ($0.7 \sim 3.8$)	$1.8 (0.0 \sim 3.2)$	3.3 (0.0 ~ 8.8)
	1990	$3.0 (0.4 \sim 4.6)$	$1.4 (1.1 \sim 2.1)$	$2.9 (1.5 \sim 7.9)$	$4.4 (3.8 \sim 5.1)$	$1.8 (0.0 \sim 2.3)$	$2.9 (0.0 \sim 7.9)$
	1989	13.6 ($0.0 \sim 25.0$)	$13.8 (0.0 \sim 57.3)$	$4.2 (0.0 \sim 18.0)$	$3.6 (0.6 \sim 19.3)$	6.0 (0.0 \sim 50.4)	6.8 ($0.0 \sim 57.3$)
	1988	$2.7 (0.0 \sim 9.5)$	$4.2 (0.0 \sim 14.9)$	$3.5 (0.0 \sim 11.0)$	$2.1 (0.4 \sim 8.8)$	1.0 ($0.0 \sim 7.4$)	$3.1 (0.0 \sim 14.9)$
	1987	6.6 ($0.0 \sim 20.6$)	6.2 ($0.0 \sim 17.6$)	$5.2 (0.0 \sim 25.8)$	$3.0 (0.0 \sim 10.3)$	$2.1 (0.0 \sim 7.2)$	$4.9 (0.0 \sim 25.8)$
	1986	$2.7 (0.0 \sim 7.5)$	1.2 ($0.0 \sim 6.1$)	4.6 (0.0 ~ 11.0)	$3.8 \ (0.0 \sim 8.9)$	$0.3 (0.0 \sim 4.5)$	3.4 (0.0 ~ 11.0)
	1985	$5.5 (0.0 \sim 37.2)$	$1.8 (0.0 \sim 17.5)$	1.5 (0.0 ~ 4.8)	1.8 ($0.0 \sim 6.8$)	$1.8 (0.0 \sim 13.8)$	$2.2 (0.0 \sim 37.2)$
	1984	$2.1 (0.0 \sim 11.4)$	$2.3 (0.0 \sim 10.6)$	$2.2 (0.0 \sim 38.4)$	$1.8 (0.0 \sim 11.5)$	$1.7 (0.0 \sim 12.1)$	$2.2 (0.0 \sim 43.8)$
	1983	$2.1 (0.0 \sim 12.4)$	$2.2 (0.0 \sim 15.1)$	$4.0 (0.0 \sim 43.8)$	4.2 ($0.0 \sim 22.3$)	1.1 ($0.0 \sim 7.6$)	3.1 (0.0 ~ 43.8)
	1982	1.8 (0.0 \sim 67.0)	$0.8 (0.0 \sim 8.2)$	1.2 (0.0 \sim 7.1)	$0.7 (0.0 \sim 2.6)$	$0.0 (0.0 \sim 2.0)$	1.0 (0.0 ~ 67.0)
	1981	$5.5 (0.0 \sim 36.7)$	$3.0 (0.0 \sim 43.5)$	$1.8 (0.0 \sim 17.7)$	1.0 ($0.0 \sim 3.8$)	$0.5 (0.0 \sim 2.1)$	$2.3 (0.0 \sim 36.7)$
	1980	$0.2 (0.0 \sim 3.2)$	12.3 ($0.0 \sim 43.5$)	$3.5 (0.0 \sim 46.0)$	$0.1 (0.0 \sim 1.4)$	$0.3 (0.0 \sim 2.8)$	$2.4 (0.0 \sim 46.0)$
	1979	$0.8 (0.0 \sim 7.0)$	1.2 ($0.0 \sim 10.0$)	1.5 (0.0 \sim 36.0)	$4.9 (0.0 \sim 17.0)$	1.6 ($0.0 \sim 26.0$)	1.7 (0.0 \sim 36.0)
	1978	12.0 ($0.0 \sim 57.0$)	$4.0 (0.0 \sim 30.0)$	$6.0 (0.0 \sim 69.0)$	$0.2 (0.0 \sim 0.6)$	$5.0 (0.0 \sim 17.0)$	6.0 (0.0 ~ 69.0)
坦	1区別内訳	外ヶ浜町・蓬田村	後潟・青森市	平内町	野辺地町・横浜町	むつ市・川内町 ・脇野沢村	

付表1-2. 春季調査における異常貝出現率の推移(前年産貝)

付表 区分		周査における異常貝出現率の推移 上磯地区	ラ <u>(削牛進兵)</u> 青森地区	平内地区	上北地区	下北地区	全湾平均
四刀	2023	8.4 (0.0 ~ 1.3)	10.3 (0.0 ~ 45.7)	1.4 (0.0 ~ 7.6)	2.5 (1.9 ~ 3.1)	1.2 (0.0 ~ 2.0)	1.8 (0.0 ~ 45.7)
	2023	$3.1 (1.2 \sim 4.7)$	$1.9 (0.0 \sim 43.7)$	$4.0 (0.0 \sim 12.4)$	$10.6 (2.4 \sim 18.8)$	$4.3 (1.0 \sim 5.6)$	4.1 (0.0 ~ 18.8)
	2022	$6.4 (6.0 \sim 7.0)$	$8.0 (2.3 \sim 12.4)$	$2.3 (0.5 \sim 4.8)$		$4.3 (1.0 \sim 3.0)$ $4.1 (1.6 \sim 11.0)$	$4.8 (0.5 \sim 18.8)$
	2021						
					$1.4 (1.4 \sim 1.5)$	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	2019	8.1 (3.2 ~ 12.2)	$14.5 (0.8 \sim 53.8)$	$2.8 \ (1.5 \sim 7.4)$	$2.7 (1.4 \sim 3.7)$	$3.8 (2.2 \sim 4.9)$	$5.7 (0.8 \sim 53.8)$
	2018	$10.5 (4.2 \sim 17.6)$	$17.5 (4.0 \sim 47.2)$	$12.0 (7.5 \sim 22.4)$	5.8 (1.5 ~ 11.6)	1.3 (0.0 ~ 4.5)	$10.9 (0.0 \sim 47.2)$
	2017	$22.5 (4.3 \sim 41.7)$	$32.3 (0.0 \sim 89.5)$	$9.5 (2.2 \sim 37.7)$	$3.4 (0.3 \sim 7.6)$	$2.0 (0.0 \sim 6.6)$	$12.9 (0.0 \sim 89.5)$
	2016	4.1 (0.6 ~ 9.2)	$7.4 (0.0 \sim 20.5)$	1.8 (0.7 ~ 4.0)	$2.4 (0.0 \sim 5.6)$	0.1 (0.0 ~ 0.4)	1.4 (0.0 ~ 20.5)
	2015	0.4 (0.0 ~ 1.0)	$2.4 (0.0 \sim 6.2)$	1.8 (0.3 ~ 3.3)	0.1 (0.0 ~ 0.2)	$0.1 (0.0 \sim 0.2)$	$1.4 (0.0 \sim 6.2)$
	2014	1.1 (0.0 ~ 2.9)	$0.9 (0.0 \sim 2.0)$	0.1 (0.0 ~ 0.3)	0.5 (0.0 ~ 1.3)	0.5 (0.0 ~ 1.0)	0.4 (0.0 ~ 2.9)
	2013	$2.9 (0.0 \sim 7.0)$	$2.7 (0.0 \sim 3.8)$	2.2 (0.9 ~ 4.8)	0.1 (0.0 ~ 0.2)	0.3 (0.0 ~ 1.0)	$2.1 (0.0 \sim 7.0)$
	2012	$0.9 (0.0 \sim 1.7)$	$1.4 (0.0 \sim 3.1)$	$1.0 (0.0 \sim 2.8)$	0.3 (0.0 ~ 0.6)	0.6 (0.0 ~ 1.5)	0.9 (0.0 ~ 3.1)
	2011	0.5 (0.0 ~ 1.0)	$0.8 (0.0 \sim 2.6)$	$2.3 (0.0 \sim 4.0)$	0.9 (0.8 ~ 1.0)	$1.3 (0.9 \sim 1.8)$	1.6 (0.0 ~ 4.0)
	2010	$1.0 (0.2 \sim 1.4)$	7.1 (0.0 \sim 20.3)	$2.5 (1.8 \sim 4.1)$	$3.3 (0.6 \sim 1.0)$	$5.2 (0.0 \sim 10.0)$	$4.0 (0.0 \sim 20.3)$
	2009	$1.1 (0.9 \sim 1.3)$	$3.4 (0.0 \sim 13.7)$	$5.2 (0.7 \sim 18.1)$	$3.0 (0.9 \sim 5.0)$	$0.7 (0.0 \sim 2.0)$	$3.6 (0.0 \sim 18.1)$
	2008	$2.9 (1.8 \sim 3.7)$	$2.1 (0.0 \sim 9.2)$	1.1 ($0.0 \sim 2.9$)	$0.9 (0.0 \sim 1.8)$	$0.7 (0.0 \sim 1.0)$	1.5 (0.0 \sim 9.2)
	2007	$3.2 (1.8 \sim 4.7)$	$1.7 (0.0 \sim 20.2)$	$2.5 (0.0 \sim 7.9)$	$4.1 (0.3 \sim 8.0)$	$0.9 (0.0 \sim 1.6)$	$2.5 (0.0 \sim 8.0)$
	2006	$2.5 (0.6 \sim 3.9)$	$0.5 (0.0 \sim 2.0)$	$0.4 (0.0 \sim 1.4)$	$0.4 (0.0 \sim 0.9)$	0.1 (0.0 ~ 0.3)	$0.6 \ (0.0 \sim 3.9)$
	2005	$3.6 (2.7 \sim 3.7)$	$3.8 (0.0 \sim 6.7)$	1.4 (0.5 \sim 2.5)	$10.6 (9.9 \sim 10.9)$	13.8 ($0.0 \sim 6.0$)	$4.1 (0.0 \sim 10.5)$
異	2004	$5.9 (1.7 \sim 15.8)$	$4.0 (1.7 \sim 6.8)$	$2.7 (0.0 \sim 6.7)$	1.1 (2.2 \sim 2.6)	$2.5 (1.0 \sim 11.3)$	$4.3 (0.0 \sim 11.3)$
	2003	$3.2 (0.0 \sim 8.6)$	12.3 ($0.0 \sim 25.9$)	$2.7 (0.3 \sim 4.9)$	$0.6 (0.4 \sim 0.8)$	$30.2 (6.0 \sim 74.4)$	$5.2 (0.0 \sim 74.4)$
常	2002	$5.3 (0.0 \sim 2.3)$	$0.4 (0.0 \sim 1.2)$	$2.2 (0.0 \sim 3.8)$	1.1 ($0.6 \sim 1.5$)	$4.7 (0.0 \sim 15.2)$	$2.7 (0.0 \sim 15.2)$
	2001	$1.9 (0.9 \sim 3.1)$	$0.6 (0.0 \sim 2.4)$	$1.8 (0.8 \sim 7.6)$	1.0 (0.0 ~ 1.8)	$0.0 (0.0 \sim 0.0)$	1.2 (0.0 \sim 7.6)
貝	2000	$2.8 (0.3 \sim 5.0)$	$0.9 (0.0 \sim 2.0)$	$4.1 (0.8 \sim 12.7)$	$0.0 (0.0 \sim 0.0)$	$0.1 \ (0.0 \sim 0.3)$	$2.2 (0.0 \sim 12.7)$
	1999	$0.2 (0.0 \sim 0.7)$	$0.7 (0.0 \sim 2.0)$	$3.0 (0.0 \sim 10.8)$	9.4 (4.0 \sim 14.0)	$1.8 (0.0 \sim 14.0)$	$2.9 (0.0 \sim 14.0)$
出	1998	$3.7 (1.4 \sim 5.6)$	1.0 (0.0 \sim 4.0)	$0.9 (0.0 \sim 1.6)$	$2.2 (1.5 \sim 2.7)$	$0.8 \ (0.1 \sim 1.4)$	1.3 ($0.0 \sim 5.6$)
	1997	$3.0 (0.8 \sim 5.0)$	$0.4 (0.0 \sim 3.0)$	$2.3 (0.5 \sim 6.2)$	7.6 (5.7 \sim 9.9)	6.4 ($2.7 \sim 8.3$)	$3.6 (0.0 \sim 9.9)$
現	1996	$2.2 (0.1 \sim 4.8)$	$0.4 (0.0 \sim 8.0)$	$2.3 (0.0 \sim 21.0)$	$1.2 (1.0 \sim 1.5)$	7.0 (1.0 \sim 26.0)	$2.6 (0.0 \sim 26.0)$
	1995	$1.3 (1.2 \sim 1.4)$	$0.2 (0.0 \sim 1.0)$	$2.4 (0.5 \sim 7.3)$	$3.5 (3.3 \sim 3.8)$	$1.4 (0.7 \sim 2.1)$	$1.9 (0.0 \sim 7.3)$
率	1994	$5.7 (3.2 \sim 10.0)$	$5.7 (0.0 \sim 27.0)$	$7.5 (2.7 \sim 16.0)$	$2.8 (2.7 \sim 2.9)$	$1.8 (0.0 \sim 6.1)$	$5.8 (0.0 \sim 27.0)$
	1993	$2.0 (1.0 \sim 3.6)$	$4.3 (1.0 \sim 10.1)$	$3.9 (0.7 \sim 6.0)$	17.4 (9.6 \sim 25.1)	$8.8 (3.0 \sim 22.4)$	6.8 (1.0 \sim 25.1)
(%)	1992	$4.3 (3.1 \sim 8.0)$	7.0 (0.0 \sim 38.1)	$5.0 (2.3 \sim 10.3)$	$12.9 (11.8 \sim 14.3)$	12.7 (1.4 \sim 32.0)	6.9 (0.0 ~ 38.1)
	1991	$1.6 (0.0 \sim 3.7)$	1.1 (0.0 \sim 3.0)	1.3 ($0.0 \sim 3.2$)	1.6 ($0.4 \sim 2.2$)	$0.4 (0.0 \sim 2.0)$	1.4 (0.0 \sim 3.2)
	1990	$10.7 (3.0 \sim 22.8)$	6.3 (4.8 \sim 11.6)	$6.2 (3.7 \sim 8.6)$	$11.9 (5.2 \sim 19.3)$	15.8 ($0.0 \sim 23.0$)	8.3 (0.0 ~ 23.0)
	1989	$41.4 (2.0 \sim 78.0)$	46.5 (6.0 \sim 92.0)	$20.1 (0.0 \sim 88.0)$	$23.0 (6.0 \sim 86.0)$	18.7 ($0.0 \sim 88.0$)	26.5 (0.0 ~ 92.0)
	1988	$10.9 (0.0 \sim 42.0)$	25.9 ($0.0 \sim 70.0$)	$6.5 (0.0 \sim 38.0)$	9.0 ($2.0 \sim 20.0$)	$2.0 (0.0 \sim 12.0)$	$10.3 (0.0 \sim 70.0)$
	1987	$4.7 (0.0 \sim 16.0)$	$5.5 (0.0 \sim 20.0)$	$4.8 (0.0 \sim 36.0)$	$3.0 (0.0 \sim 8.0)$	$2.4 (0.0 \sim 12.0)$	4.4 (0.0 ~ 36.0)
	1986	$2.0 (0.0 \sim 6.0)$	$2.1 (0.0 \sim 32.0)$	$2.7 (0.0 \sim 14.0)$	$2.1 (0.0 \sim 6.0)$	$1.4 (0.0 \sim 8.0)$	$2.3 (0.0 \sim 32.0)$
	1985	$5.1 (0.0 \sim 44.0)$	$2.8 (0.0 \sim 8.0)$	$1.9 (0.0 \sim 12.0)$	$2.0 (0.0 \sim 8.0)$	$4.5 (0.0 \sim 14.0)$	$2.7 (0.0 \sim 44.0)$
	1984	$4.3 (0.0 \sim 48.0)$	$3.0 (0.0 \sim 25.0)$	$2.6 (0.0 \sim 24.0)$	$9.8 (0.0 \sim 38.0)$	$3.5 (0.0 \sim 26.0)$	$3.8 (0.0 \sim 48.0)$
	1983	$2.4 (0.0 \sim 22.0)$	$4.7 (0.0 \sim 58.0)$	$5.4 (0.0 \sim 58.0)$	$5.5 (0.0 \sim 14.0)$	1.6 (0.0 ~ 24.0)	4.4 (0.0 ~ 58.0)
	1982	$5.1 (0.0 \sim 50.0)$	$2.0 (0.0 \sim 30.0)$	1.3 (0.0 ~ 8.0)	1.1 ($0.0 \sim 16.0$)	$2.8 (0.0 \sim 10.0)$	1.9 (0.0 ~ 50.0)
	1981	17.8 ($0.0 \sim 92.0$)	15.3 ($0.0 \sim 68.0$)	$4.0 (0.0 \sim 64.0)$	5.8 (0.0 ~ 22.0)	6.3 ($0.0 \sim 21.2$)	8.3 (0.0 ~ 92.0)
	1980	$4.5 (0.0 \sim 20.0)$	$22.6 (0.0 \sim 72.0)$	$8.9 (0.0 \sim 40.0)$	$3.0 (0.0 \sim 22.0)$	$2.3 (0.0 \sim 22.0)$	6.6 (0.0 ~ 72.0)
	1979	$5.9 (0.0 \sim 62.0)$	12.0 ($0.0 \sim 34.0$)	$3.0 (0.0 \sim 80.0)$	$5.4 (0.0 \sim 24.0)$	5.6 (0.0 ~ 80.0)	5.6 (0.0 ~ 80.0)
	1978	$23.0 (0.0 \sim 100.0)$	14.0 ($0.0 \sim 94.0$)	$13.0 (0.0 \sim 86.0)$	$3.0 (0.0 \sim 8.0)$	13.0 ($0.0 \sim 61.0$)	14.6 (0.0 ~ 100.0)
坦	也区別内訳	外ヶ浜町・蓬田村	後潟・青森市	平内町	野辺地町・横浜町	むつ市・川内町・脇野沢村	
					l		

付表2-1. 2023年度春季調査結果(漁協・支所・養殖方法別)

11 11				- T-111/1	(m. 100) ~ // /	食泡刀 丛加/								
漁協	・支所	養殖方法				ポリドラ異常貝	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔	(11 (27)	収容密度	(11. ()
		の区分	連数	(%)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	重量 (g)	指数	(cm)	(枚/段)	(枚/連)	(枚/m)
		パール	2	1.8	0.0	0.0	8. 0	48.3	19. 3	40.0	40.0	12.5	150	375
	ケ浜	耳吊り	0											
(2	平舘)	丸 篭	0										ļ	
		計	2					40.0					4 = 0	
		平均。、、	4	1.8	0.0	0.0	8. 0	48.3	19. 3	40.0	40.0	12.5	150	375
Al	. Set	パール	4	1. 7	1. 3	0.0	7. 7	41.7	16. 1	38. 5	50. 3	13. 1	170	344
	ケ浜	耳吊り	0											
(½	蟹田)	丸 篭	0 4						ļ				 	
		計 攻	4	1. 7	1. 3	0.0	7. 7	41.7	16. 1	38. 5	50. 3	13. 1	170	344
		ナー 均	4	2. 4	0.8	0.0	8. 0	51.8	20. 4	39. 4	67. 0	23. 4	234	351
落	田村	耳吊り	0	2. 1	0.0	0.0	0.0	01.0	20. 1	00.1	01.0	20. 1	201	001
建	E 141.1	丸篭	0											
		計	4										 	
		平均	_	2.4	0.8	0.0	8. 0	51.8	20. 4	39. 4	67. 0	23. 4	234	351
		パール	2	11. 2	3. 3	0.0	7. 7	44. 7	16. 6	37. 1	30.0	29.6	296	987
後	潟	耳吊り	0											
		丸 篭	0											
		計	0 2											
		平均		11.2	3.3	0.0	7.7	44.7	16.6	37. 1	30.0	29.6	296	987
		パール	4	4.8	3. 2	0.0	8.3	58.2	22. 5	38. 5	26.0	15.3	145	573
	奥内	耳吊り												
		丸篭	ļ											
		計	4											
L		平均		4.8	3. 2	0.0	8.3	58.2	22. 5	38. 5	26.0	15.3	145	573
		パール	2	1.4	1.6	0.0	7. 2	41.8	15. 9	38. 0	25. 2	18.9	189	772
	油川	耳吊り												
		丸篭							ļ				ļ	
		計	2	1 4	1.0	0.0	7.0	41.0	15.0	00.0	05.0	10.0	100	770
F		平均 パール	2	1. 4 6. 9	1. 6 0. 0	0.0	7. 2	41.8	15. 9	38. 0	25. 2 37. 9	18. 9	189 224	772
青	+ *		Z	6.9	0.0	0.0	1.5	42. 2	15. 3	36. 0	37.9	24. 9	224	606
月	青森	耳吊り												
		丸篭 計	2						ł					
		平均		6. 9	0.0	0.0	7. 5	42.2	15. 3	36. 0	37. 9	24. 9	224	606
F		パール	2	6. 7	45. 7	2. 1	6. 5	32. 7	12. 5	38. 0	35. 0	25. 3	202	579
森	造道	耳吊り		0.1	40.1	2. 1	0.0	02.1	12.0	30.0	55.0	20.0	202	013
AAK	X= X=	丸篭												
		計	2						İ				!	
		平均	_	6.7	45. 7	2. 1	6. 5	32.7	12. 5	38.0	35. 0	25.3	202	579
		パール	2	4.6	11.0	0.0	7. 1	38.4	14. 2	37.0	40.0	19.8	198	494
市	原別	耳吊り												
		丸篭							<u> </u>					
		計	2											
		平均		4.6	11.0	0.0	7. 1	38.4	14. 2	37.0	40.0	19.8	198	494
		パール	2	2.0	2. 0	0.0	7. 7	48.2	17. 2	35. 6	30.0	18.0	144	481
	野内	耳吊り												
		丸篭							ļ					
		計	2	0.0	0.0	0.0		40.0	15.0	05.0	00.0	10.0		404
F		平均。、、	1	2.0	2.0	0.0	7. 7	48. 2	17. 2	35.6	30. 0	18.0	144	481
	6 	パール	1	0.5	6.0	0.0	7. 3	44. 7	17. 4	38. 9	25. 0	25. 1	201	804
	久栗坂													
		丸篭	1						ļ				 	
		計	1	0.5	6.0	0.0	7 9	44.7	17 4	30 0	25.0	25 1	201	004
 		平均 パール	15	0. 5 4. 1	6. 0 11. 2	0.0	7. 3 7. 6	44. 7 46. 7	17. 4 17. 7	38. 9 37. 7	25. 0 29. 4	25. 1 18. 9	201 171	804 598
	小 計		19	4.1	11. 4	0.4	7.0	40.7	11.1	31.1	49.4	10.9	1/1	990
	√1, <u>b</u> [丸篭												
		計	15						†	 		†	 	
		平均	10	4. 1	11. 2	0.4	7. 6	46. 7	17. 7	37. 7	29. 4	18. 9	171	598
 -		11.9	1	1. 1	11.4	V. I		10.1			_v. 1	10.0		000

付表2-2. 2023年度春季調査結果(漁協・支所・養殖方法別) (続き)

漁協	協・支所	養殖方法	調査	へい死率	異常貝出現率	ポリドラ異常貝	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔		収容密度	
		の区分	連数	(%)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	重量 (g)	指数	(cm)	(枚/段)	(枚/連)	(枚/m)
	土屋	パール 耳吊り 丸篭	4	1.3	0.4	5. 0	7. 4	43.5	16. 4	37. 7	27. 2	17.5	175	673
		計	4											
		平均 パール	4	1. 3 5. 0	0. 4	5. 0 2. 0	7. 4	43. 5 51. 7	16. 4 20. 0	37. 7 38. 7	27. 2 22. 1	17. 5 22. 0	175 179	673 814
	茂浦	耳吊り	1	0.0	0.5	2.0	1.0	01.1	20.0	00.1	22.1	22.0	113	014
		丸篭 計	4											
		平均		5.0	0.3	2.0	7.8	51.7	20.0	38. 7	22. 1	22.0	179	814
ज स	adt en	パール	4	3.6	0.0	0.0	7.6	45. 3	17. 2	37. 8	15. 8	22. 3	182	1, 159
平		耳吊り 丸篭	4	3. 4	0.4	0.0	7. 7	50. 5	20. 4	40.5	20.0		160	802
		計	8							• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
		平均	0	3.5	0.1	0.0	7. 6	46. 9	18. 1	38.6	17. 1	22. 3	176	1,052
内	東田沢	パール 耳吊り	3	10. 0 4. 7	0. 5 4. 3	7. 3 2. 2	7. 3 7. 5	41. 8 50. 2	15. 7 20. 3	37. 1 40. 4	26. 3 27. 2	22. 5	180 141	693 522
1.1	жши	丸篭		1. 1	1.0	2. 2	1.0	00.2	20.0	10. 1	21.2		111	022
		計	6	0.0		2.4	7 0	40.0	10.5	05.5	00.5	00.5	150	221
		平均 パール	6	9. 0 4. 5	1. 2 2. 4	6. 4 15. 3	7. 3 7. 5	43. 3 42. 9	16. 5 16. 4	37. 7 38. 2	26. 5 28. 9	22. 5 22. 1	173 177	661 616
町	小湊	耳吊り	4	1.6	4. 0	10. 1	7. 7	52.8	21. 0	39.8	35. 1	22. 1	135	387
		丸篭												
		計 平均	10	4. 1	2.6	14.7	7. 5	44. 1	17. 0	38. 4	29. 7	22. 1	172	588
		パール	5	2.9	0.3	3. 7	7.6	48.0	17.8	37. 1	31. 3	18.7	165	603
	清水川	耳吊り 丸篭	5	3. 1	7. 6	3. 6	7. 7	53.8	21.8	40.3	42. 1		156	374
		計	10	2.0	0.0	2.7	7.6	F0 0	10.1	20.0	24.0	10.7	160	E96
		平均 パール	26	3. 0 5. 0	2. 8	3. 7 6. 1	7. 6 7. 5	50. 0 44. 9	19. 1 17. 0	38. 2 37. 7	34. 9 25. 4	18. 7 21. 1	162 177	526 758
	小 計	耳吊り 丸篭	16	3. 4	4. 2	2. 9	7. 6	51.9	21. 0	40. 3	31. 3		152	540
		計 平均	42	4. 7	1 4	5. 5	7. 5	46.3	17.8	38. 2	26. 6	21.1	172	714
		半均パール	2	4. 1	1. 4 1. 9	0. 3	8. 0	50.3	19. 4	38. 6	39. 3	26. 1	212	714 544
野	辺地町	耳吊り 丸篭	4	1.3	3. 1	4. 3	7. 9	57.5	22. 6	39. 2	43. 6		160	371
		計	0 6	2.8	0.4	2. 2	8. 0	F2 0	20.0	38.9	41.9	26. 1	107	461
		平均 パール	0	2.8	2. 4	2. 2	8. 0	53.8	20. 9	38.9	41. 3	26. 1	187	461
村	黄浜町	耳吊り	6	10.3	2.6	0.0	7.0	51.3	19.8	38.6	47.0		146	325
		丸篭	0											
		計 平均	6	10.3	2.6	0.0	7. 0	51. 3	19. 8	38. 6	47. 0	0.0	146	325
		パール	2	0.2	0.6	0.0	7. 6	53.6	20. 2	37.7	43.6	20.7	165	379
ŧ	ひつ市	耳吊り	0	1 2	2.0	0.0	7. 2	48.9	19. 5	40.0	64. 5	53. 6	526	915
		丸篭 計	2	1.3	4.0	0.0	1.4	40. 9	13. 0	40.0	04. 0	<i>აა.</i> 0	920	815
		平均		1.0	1.6	0.0	7. 3	50. 1	19. 7	39. 4	59.0	45.0	431	700
1	川内町	パール	0											
,	11 K A 10 1	耳吊り 丸篭	0 3	1.2	1.5	7.3	7. 1	40.9	14. 3	34. 9	52. 7	24. 8	248	474
		計	3											
		平均	1	1.2	1.5	7.3	7.1	40.9	14. 3	34.9	52. 7	24. 8	248	474
脇	野沢村	パール 耳吊り	1 1	0. 0 0. 6	0. 0 0. 0	4. 0 0. 0	6. 8 6. 9	35. 7 40. 3	12. 4 14. 9	34. 7 37. 0	40. 0 40. 0	25. 3	202 154	505 385
		丸篭	0											
		計 平均	2	0.4	0.0	1.6	6. 9	38. 5	13. 9	36. 1	40.0	25. 3	173	432
		パール	58	4.2	1. 3	4. 1	7. 6	45.4	17. 3	38. 0	32. 0	19.8	178	649
	全湾	耳吊り	27	4.7	3.6	2.3	7.5	51.8	20.6	39. 7	36. 0	40. 7	151	474
		丸篭 計	5 90	1.2	1. 9	1.0	7. 2	47.8	18.8	39. 3	62. 9	49. 7	488	768
		平均		4. 1	1.8	3.6	7.6	46. 7	18.0	38.4	34. 4	20.9	190	623

付表3-1. 春季調査結果の推移 (パールネット)

付表3-1. 春季調調査年度	査結果の推 へい 死率 (%)	異常貝 出現率 (%)	殻長 (cm)	全重量 (g) A	軟体部 重量(g) B	軟体部 指数 B/A	連間隔 (cm)	1段当りの 収容密度 (枚/段)	幹綱1m当り の収容密度 (枚/m)
1985	2. 8	1. 3	7. 0	39. 9	15.8	39. 6	54. 9	16	268
1986	2. 8	2. 0	6. 6	31.9	13. 2	41. 4	52.8	19	338
1987	6. 0	4. 6	6. 7	34.6	13. 0	37. 6	45.0	20	432
1988	2. 5	9. 1	7. 2	41.9	15. 9	37. 9	45.6	17	359
1989	10.0	27. 5	7. 2	44. 5	17. 4	39. 1	43. 1	16	388
1990	2. 2	5.8	8. 0	55. 1	21. 4	38. 8	44. 0	16	372
1991	2. 4	1.0	7. 4	43.9	16. 4	37. 4	42. 7	17	414
1992	2. 4	5. 2	7. 8	54.0	21. 5	39. 8	44. 7	15	363
1993	1. 9	3. 4	7. 7	52. 4	20. 5	39. 1	40.8	15	345
1994	10. 3	6.6	7.8	55.8	25. 5	45. 7	41.8	15	361
1995	1. 6	0.7	7. 4	46.6	18. 0	38. 6	44.8	16	415
1996	2. 2	1. 9	7. 6	49.9	19. 9	39. 9	42. 5	16	410
1997	2. 1	1. 7	8. 0	56.3	22. 9	40. 7	41. 2	15	387
1998	2. 4	1. 2	7. 4	44.9	16. 3	36. 3	39. 2	15	402
1999	1. 2	1.8	7. 4	46.3	17. 5	37. 8	37. 9	15	432
2000	3. 7	1. 1	7. 5	45. 1	17. 5	38. 8	39. 2	17	540
2001	3. 5	0.8	7. 2	38.8	14. 1	36. 3	36. 6	18	563
2002	2. 4	3. 4	7. 9	53.9	22. 2	41. 0	33. 9	15	515
2003	3. 4	5.8	7. 2	44.0	16. 6	38. 6	33. 3	18	620
2004	3. 1	5.0	7. 6	49.9	19.8	39. 8	33.8	18	632
2005	6.8	3.0	7. 3	42.6	16. 1	37. 6	31. 5	18	600
2006	25. 6	0.6	6. 6	28.8	10.8	37. 5	29. 6	23	767
2007	12. 9	1.5	7. 6	46.6	19. 5	41. 5	25. 1	18	740
2008	3. 7	1.5	7. 2	36. 9	13. 4	36. 3	29.8	22	805
2009	5. 1	4.0	8. 0	55.0	22. 2	40. 2	35. 1	18	606
2010	10. 2	4.8	7. 4	42. 4	16.8	39. 4	35. 5	21	665
2011	5. 2	1. 7	6.8	34.0	12. 3	35. 9	31. 4	18	536
2012	6. 7	1.0	6.8	33.0	12. 0	36. 3	42. 4	21	610
2013	19. 0	2. 6	6. 6	32. 5	13. 2	40. 4	41. 4	22	601
2014	5. 2	0.5	6. 4	27. 9	10.6	38. 0	32. 3	21	773
2015	6. 1	1.4	7. 5	44. 5	17. 4	39. 2	34. 2	22	753
2016	5. 1	1. 7	8. 0	58. 4	24. 8	42. 3	29. 9	22	892
2017	11.8	16. 7	6. 9	38. 7	15. 7	38. 5	31.8	22	815
2018	5. 6	13.0	7. 5	47.0	18. 6	39. 4	30. 2	23	859
2019	4. 3	6.8	8. 0	56. 9	22. 6	39. 5	29.8	25	825
2020	5. 1	1.8	7. 5	49. 1	20. 1	40. 9	24. 0	22	914
2021	5. 6	4. 9	7. 7	48.7	19. 3	39. 4	31. 2	21	699
2022	3. 0	3. 1	7. 5	43. 7	17. 2	39. 2	29. 5	24	811
2023	4. 2	1.3	7. 6	45. 4	17. 3	38. 0	32. 0	20	649
1985-2022平均	5. 7	4. 2	7. 4	44. 7	17. 6	39. 1	37. 4	19	571

付表3-2. 春季調査結果の推移(耳吊り)

付表3-2. 春季調調査年度	査結果の推 へい 死率 (%)	異常貝 出現率 (%)	殻長 (cm)	全重量 (g) A	軟体部 重量(g) B	軟体部 指数 B/A	連間隔	1連当りの 収容密度 (枚/連)	幹綱1m当り の収容密度 (枚/m)
1985	2. 0	2. 2	7. 1	46. 3	19. 4	41. 9	58. 5	154	277
1986	4. 7	2. 9	6.8	38. 3	17. 1	44. 6	56. 5	197	331
1987	4. 3	4. 2	6. 7	36. 3	13. 3	36. 6	50.0	187	385
1988	3. 5	8.6	7. 2	47.6	19. 2	40. 3	47. 1	184	422
1989	4.0	25. 0	7. 5	51.0	20. 3	39. 8	46.6	172	394
1990	3. 5	9. 4	8. 0	60.5	23. 4	38. 7	45. 7	168	411
1991	4. 5	1. 7	7. 4	47. 4	18. 4	38. 8	42.6	176	455
1992	2. 6	7. 6	8. 0	58. 2	22. 8	39. 2	41. 1	194	518
1993	2. 4	8.8	7. 1	51.8	19.8	38. 2	37.0	156	444
1994	14. 9	4. 6	7. 9	59.3	23. 3	39. 3	39. 9	171	485
1995	3. 1	3. 2	7.8	57.3	22. 1	38. 6	43.6	159	451
1996	2. 5	2.8	7.8	59.0	22. 5	38. 1	40.9	164	466
1997	2. 2	4. 5	8. 4	72.8	30. 3	41. 6	42.2	159	411
1998	2. 2	1.5	7. 5	52.0	17. 2	33. 1	36. 7	160	495
1999	1.6	5. 9	7. 3	49.0	17. 5	35. 7	35.8	163	507
2000	4.8	3. 5	7. 6	50.6	18. 7	37. 0	36. 5	155	485
2001	6. 9	1.9	7. 4	45. 4	17. 2	38. 0	32. 4	172	605
2002	1. 9	1.6	7.8	59. 3	24. 8	41.8	30. 3	163	669
2003	4. 6	3. 2	7. 5	51.3	20. 2	39. 4	30. 3	156	579
2004	1.8	3. 3	8. 0	59.5	23. 2	39. 1	31.3	157	591
2005	2. 6	5. 1	7. 3	44. 2	15. 9	35. 9	36. 1	161	510
2006	6. 2	0. 5	6. 7	33. 4	12. 5	37. 6	31.7	166	597
2007	1. 9	4. 6	7. 6	50.0	20. 6	41. 0	32.8	167	586
2008	1. 4	1.4	7. 4	45.6	16. 9	37. 0	31. 4	163	581
2009	6. 7	2. 7	8. 1	63. 2	25. 7	40. 6	29. 4	167	760
2010	3. 1	2.0	7. 6	49.8	19. 6	39. 3	31.9	162	579
2011	2.8	1.4	6. 9	37. 5	13. 9	36. 7	44. 3	151	371
2012	1.6	0.5	7. 0	38.8	14. 4	37. 2	39. 1	162	507
2013	5. 3	0.9	6. 5	31.6	12. 0	37. 7	37.9	158	491
2014	3. 2	0. 1	6. 6	31. 4	12. 1	38. 3	31.9	161	594
2015	3. 3	1. 9	7. 6	52.0	20.8	40.0	29. 9	161	629
2016	3. 8	0. 7	8. 1	65. 5	26. 9	41. 1	32.8	165	624
2017	1. 4	5. 2	7. 4	45. 5	18. 3	40.0	34. 2	159	512
2018	1. 3	6.6	7. 4	48. 4	19. 7	40. 5	34. 1	154	529
2019	1. 5	3. 5	7. 9	55. 3	22. 0	39. 4	26. 7	143	686
2020	2. 1	3.6	7.8	56. 2	22. 7	40. 4	31.8	155	575
2021	2. 3	3. 2	7. 6	50.3	20. 2	40. 0	32. 1	155	528
2022	2. 4	7.9	7. 9	56.0	23. 2	41. 5	35. 6	157	481
2023	4. 7	3.6	7. 5	51.8	20. 6	39. 7	36.0	151	474
1985-2022平均	3. 4	4. 2	7. 5	50.2	19. 7	39. 1	37.6	164	513

付表3-3. 春季調	査結果の推	[移(丸篭)							
調査年度	へい 死率 (%)	異常貝 出現率 (%)	殻長 (cm)	全重量 (g) A	軟体部 重量(g) B	軟体部 指数 B/A	連間隔 (cm)	1段当りの 収容密度 (枚/段)	幹綱1m当り の収容密度 (枚/m)
1985	1.6	6.6	6. 7	36.9	14.8	40. 1	70.2	16	241
1986	1. 6	1. 5	6. 6	31. 2	14. 1	45. 2	72. 4	21	282
1987	4. 5	4. 6	6. 7	35. 0	12. 6	36. 0	64. 0	20	301
1988	3. 1	19. 3	6.8	39. 2	16. 0	40.8	65. 9	21	362
1989	8. 0	32. 2	7. 2	44. 6	17. 5	39. 2	58. 6	21	371
1990	1. 7	17. 6	7. 6	49. 9	19. 0	38. 1	68.3	17	257
1991	1. 2	2. 4	7. 0	36. 9	13. 9	37. 7	62. 5	17	275
1992	1. 3	14. 6	7. 4	44. 6	17. 2	38. 6	58. 5	19	347
1993	3. 2	17.8	7. 1	40.5	16. 3	40. 2	51.7	17	340
1994	5.8	6.3	7.8	53. 5	20. 4	38. 1	48.5	19	404
1995	1. 6	3.6	7. 2	42.3	15. 6	36. 9	63.8	26	409
1996	1. 5	5. 9	7. 2	44.8	15. 2	33. 9	45.8	15	342
1997	0. 9	7. 5	7. 5	51.8	22. 0	42. 5	49. 1	14	277
1998	0. 1	1.4	7. 2	45.0	14. 5	32. 2	42.9	14	345
1999	0. 4	0.6	6. 9	40.3	15. 7	39. 0	45, 0	14	323
2000	1. 2	0.7	6. 9	37.8	14. 4	38. 1	41. 9	17	413
2001	1. 5	0.0	6.8	32.8	12. 5	38. 0	53. 5	21	358
2002	1. 2	1.7	7. 2	41.7	16. 7	40. 1	47.0	22	468
2003	9.8	19. 3	6. 5	32. 3	11. 7	35. 9	63. 1	28	430
2004	1. 0	6. 9	7. 2	40.7	16. 3	38. 9	41. 2	15	358
2005	4. 2	8. 4	6. 7	33. 1	11. 5	34. 9	53. 1	29	533
2006	1. 7	0.4	6. 0	26. 3	8. 1	31. 9	55. 5	33	576
2007	4. 8	1.0	7. 0	37. 1	14. 9	40. 3	50.9	22	457
2008	0.6	1.4	7. 1	38. 5	14. 3	37. 1	57. 5	28	463
2009	1. 1	1.3	7. 2	43.4	15. 5	35. 2	62. 3	38	586
2010	0.6	8.8	6. 2	31. 3	12. 5	40. 2	63.0	43	678
2011	0.0	2.0	6. 4	28. 1	10. 1	35. 9	70. 7	36	506
2012	0. 4	0.6	6. 7	33. 3	11. 9	35. 8	49. 9	21	398
2013	1. 6	0.3	5.8	22.6	7.8	34. 7	54. 0	35	633
2014	0. 2	0.7	6. 1	27.8	9. 4	34. 1	59. 3	50	844
2015	1. 2	0.0	6. 7	34. 5	12. 3	35. 8	55. 3	45	812
2016	1. 2	0. 1	7. 4	46.8	18. 7	39. 6	50. 4	46	946
2017	0.3	2.8	7. 1	38. 5	14. 6	37. 9	68. 7	40	559
2018	0. 5	1.8	6. 2	35.9	13. 9	38. 9	63. 2	27	409
2019	12. 8	14. 3	7. 2	40.4	15. 7	38. 8	50.8	25	493
2020	0.8	1.0	7.8	50.5	19. 4	38. 4	58.9	29	484
2021	8. 3	7.7	7. 3	39. 1	15. 0	38. 4	55.3	34	628
2022	1. 4	9. 1	7. 6	48.8	19. 3	39. 5	33. 2	16	452
2023	1. 2	1.9	7. 2	47.8	18.8	39. 3	62. 9	50	768
1985-2022平均	2. 3	6.0	6. 9	38.8	14.8	37. 8	56. 1	25	455

付表3-4. 春季調査結果の推移(全体)											
調査年度	へい 死率 (%)	異常貝 出現率 (%)	殻長 (cm)	全重量 (g) A	軟体部 重量(g) B	軟体部 指数 B/A	連間隔 (cm)	幹綱1m当り の収容密度 (枚/m)			
1985	2. 2	2. 3	6. 9	41.3	16. 7	40. 4	59. 9	264			
1986	3. 4	2. 3	6. 7	33. 9	14. 8	43. 7	59. 1	321			
1987	4. 9	4. 4	6. 7	35. 2	13. 0	36. 9	50.0	391			
1988	3. 1	10. 3	7. 1	43. 5	17. 1	39. 3	49. 3	379			
1989	6.8	26. 5	7. 3	47. 0	18. 5	39. 4	46. 2	389			
1990	2. 9	8. 3	7. 9	56. 5	21.5	38. 1	47. 6	374			
1991	3. 3	1. 4	7. 3	44. 5	16. 9	38. 0	44.3	431			
1992	2. 3	6. 9	7.8	54. 0	21. 3	39. 4	45. 5	407			
1993	2. 2	6.8	7. 5	50.0	19. 9	39. 8	40.7	377			
1994	12. 0	5.8	7. 9	57. 1	22. 7	39. 8	41.3	412			
1995	2. 2	1.9	7. 5	50. 3	19. 4	38. 6	45. 7	428			
1996	2. 3	2.6	7. 6	53. 2	20. 3	38. 2	42. 1	428			
1997	2. 0	3.6	8. 1	62. 9	26. 0	41. 3	42.6	384			
1998	2. 2	1.3	7. 4	48.3	16. 6	34. 4	38. 2	443			
1999	1. 3	3. 3	7. 3	46. 9	17. 4	37. 1	38. 5	453			
2000	4. 1	2. 2	7. 5	47. 2	17. 9	37. 9	38. 1	505			
2001	4. 6	1.2	7. 2	40.9	15. 1	37. 0	35. 7	571			
2002	2. 1	2. 3	7.8	56. 2	23. 3	41. 4	32. 7	599			
2003	4. 2	5. 2	7. 3	46.8	18. 0	38. 8	33. 3	593			
2004	2. 4	4. 3	7.8	53.8	21. 2	39. 5	33. 1	601			
2005	5. 1	4.0	7. 3	42.8	15.8	36. 8	34. 2	563			
2006	19. 1	0.6	6.6	30.0	11. 2	37. 3	31. 3	710			
2007	9. 0	2.5	7. 5	47. 2	19. 6	41. 3	28. 9	676			
2008	2. 6	1.5	7. 3	40.7	15. 0	36. 6	32. 0	690			
2009	5. 4	3.6	8.0	56. 9	23. 0	40. 1	34. 4	648			
2010	7. 6	4.0	7. 4	44. 5	17. 6	39. 4	35. 2	637			
2011	4. 4	1.6	6.8	34. 7	12. 6	36. 1	36. 5	491			
2012	5. 3	0.9	6. 9	34. 3	12. 5	36. 5	42.0	578			
2013	14. 7	2. 1	6.6	31.9	12. 7	39. 5	40. 9	573			
2014	4. 5	0.4	6. 4	28.8	11. 0	38. 0	33. 3	727			
2015	4. 8	1.4	7. 4	45. 4	17. 7	39. 0	35. 0	727			
2016	4. 5	1.4	8.0	59. 2	24. 9	41.8	32. 2	832			
2017	8. 4	12. 9	7. 0	40.7	16. 5	39. 0	33. 6	718			
2018	4. 3	10.9	7. 5	46.8	18. 6	39. 7	32. 7	753			
2019	3. 4	5. 7	7. 9	56. 2	22. 3	39. 5	28. 9	772			
2020	4. 0	2.4	7. 6	51.0	20.8	40. 4	27. 5	789			
2021	5. 2	4.8	7. 6	47. 9	19. 0	39. 4	34. 3	652			
2022	2. 8	4. 1	7. 6	46.0	18. 3	39. 6	30. 7	743			
2023	4. 1	1.8	7. 6	46. 7	18. 0	38. 4	34. 4	623			
1985-2022平均	4. 9	4. 4	7. 4	46. 2	18. 1	38. 9	38.8	522			

付表4. 2021年産貝養殖数量調査結果(2023年4月30日時点)

,	漁協	現在の保	有枚数		販	売 数	量	
	· 支 所	使用幹綱総 延 長	成貝用	稚貝	半成貝	新貝	成貝	計
		(m)	(万枚)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)
外	ケ浜 平舘	12,600	150		2, 593			2, 593
外	ケ浜 蟹 田	10, 440	386		6, 082		37	6, 119
	蓬 田 村	15, 100	261		4, 974			4, 974
名	後 潟	2,800	44	92	2, 393		92	2, 577
	奥 内	9, 300	417		4, 836		64	4, 900
青	油川	2,800	29		1, 498			1, 498
	青 森	900	8		138			138
森	造 道	1, 200	24		227			227
	原別	1, 950	51		935			935
市	野内	3,000	71		530		4	534
	久栗坂	8, 400	146		2, 384		29	2, 413
	小 計	27, 550	745		10, 548		97	10, 645
	土屋	700	12		3, 748	1, 519	51	5, 318
平	茂浦	11,800	660	73	4, 934	1,645	130	6, 782
	浦田	16, 600	464	106	5, 055	2, 109	114	7, 384
内	東田沢	6, 900	142		8, 997	2, 183	943	12, 123
	小 湊	30, 900	300		5, 038	2, 162	500	7, 700
町	清水川	54,000	1, 376		2, 974	932	1, 095	5, 001
	小 計	120, 900	2, 954	179	30, 746	10, 550	2, 833	44, 308
	野辺地町	51, 300	913	28	687	42	430	1, 187
	横浜町	8, 900	304	122	23	39	3, 189	3, 373
	むつ市	2,000	23	19	1, 268		328	1, 615
	川内町	9, 200	134	450	447	130	670	1, 697
	脇野沢村	1, 100	12	220	571	524	87	1, 402
	合 計	261, 890	5, 926	1, 110	60, 332	11, 285	7, 763	80, 490

付表5. 2022年産貝養殖数量調査結果(2023年4月30日時点)

Ħ	Ą	協	養殖	使用幹綱	地まき	供出	移出(稚貝)	販売数	 数量	現	在のり	呆 有 枚	数	
3	·	· 所	経営体数	総延長	数量	時期	数量	販 売 先	稚貝	半成貝	半成貝用	新貝用	成貝用	小 計	合 計
		,,,,	(経営体)	(m)	(万枚)	(年月)	(万枚)		(トン)	(トン)	(万枚)	(万枚)	(万枚)	(万枚)	(万枚)
外外	r浜	平 舘	28	97, 200						141	5, 817	0	151	5, 968	6, 260
	·浜		43	132, 600						745	10, 797		872	11, 669	13, 454
		日村	42	55, 800	25	R5.4				36	3, 175		227	3, 402	3, 497
仓		潟	28	56, 800	27	R5.4				20	1, 990		171	2, 161	2, 233
	奥		39	10, 200						43	1, 596		140	1, 735	1,809
青	泪		16	25, 100						81	2,015		23	2, 038	2, 232
	青		5	5, 600						0	28		4	32	32
森	迢		4	800						3	142		16	158	167
١.	厉		9	2, 400						0	432		42	474	474
市	里		9	6, 900						0	324		32	356	356
		(栗坂	21	8, 550						0	1, 785		56	1,841	1,841
	月		103	59, 550						127	6, 322	0	313	6, 634	6, 911
_	<u>±</u>		31	64, 600					22	640	3, 537	2,052	33	5, 622	7, 143
平	艿		49	187, 200						370	3, 810	188	810	4, 808	5, 524
حات	泪		75	200, 400	10	DE 4				531	5, 023	3, 353	464	8, 840	9, 973
内		東田沢	60	159, 900	18	R5. 4				679	3, 545	2, 574	920	7, 039	8, 624
m		ト 湊	100	420, 000						1, 039	9, 812	3, 445	569	13, 826	16, 180
町		青水川	86	166, 350	18				<u> </u>	429	6, 110	2, 360	1, 376	9, 846	10, 705
		ト 計	401	1, 198, 450		R4. 11/R5			22	3, 688	31, 837	13, 972	4, 172	49, 981	58, 149
		地町	57	130, 400	137	. 4			14	151	1,645	597	1, 476	3, 718	4, 162
		兵町	61	207, 100					140	485	1, 285	99	6, 219	7,603	8,822
		っ 市	33	93, 000	567	R5.4			0		3, 098		369	3, 467	4,035
		可町	43	92, 600	364	R5.4					1,856		1,064	2, 920	3, 284
		沢村	28	32, 800	68	R5.4	792	石持、野牛	220	571	608	544	55	1, 207	4, 121
É	7	計	867	2, 156, 300	1, 206		792		396	5, 964	68, 429	15, 212	15, 088	98, 730	114, 927

付表6. 2023年産稚貝採取予定数量および利用計画

漁協・支所		採	取 計	画	利					用	計	画				
		養殖	採苗予定数	一人当りの	養 殖				移出用	地まき用				合 計	地まき	
		経営体数		採苗予定数	漁業者数	半成貝	新貝	成 貝	小 計		放流枚数	放流時期	放流面積	放流密度		利用率
外ヶ浜 平 舘		(経営体) 25	(万枚) 6,249	(万枚) 250	(人) 28	(万枚) 6,098	(万枚) 0	(万枚) 151	(万枚) 6,249	(万枚)	(万枚)	(年月)	(ヘクタール)	(枚/㎡)	(万枚) 6,249	(%) 0.0
外ヶ浜 蟹 田		43	15, 000	349	43	12,670	0	500	13, 170						13, 170	0. 0
遊 田 村		41	10, 250	250	41	9, 750	0	400	10, 150		100	R6. 4	60	1.7	10, 250	0. 0
後潟		28	6, 500	232	28	6, 200	•	300	6, 500		100	KO. 1	00	1. 1	6, 500	0. 0
<u> </u>	奥内	38	24, 000	632	38	16,000		300	16, 300						16, 300	0. 0
青	油川	16	8,000	500	16	7,000		300	7, 300						7, 300	0. 0
'3	青森	2	600	300	5	500		20	520						520	0. 0
森	造道	4	1, 500	375	4	1, 200		30	1, 230						1, 230	0. 0
7014	原別	9	5, 800	644	9	4,500		50	4, 550						4, 550	0. 0
市	野内	8	10,000	1, 250	9	1,500		200	1, 700						1, 700	0. 0
	久栗坂	18	8, 550	475	21	5, 500		200	5, 700						5, 700	0. 0
	小計	95	58, 450	615	102	36, 200		1, 100	37, 300						37, 300	0. 0
	土屋	31	10,000	323	31	7,000	2,800	200	10,000						10,000	0.0
平	茂浦	48	6,000	125	48	4,000	1,000	1,000	6,000						6,000	0.0
	浦田	74	20,000	270	74	7,032	4, 694	650	12, 375						12, 375	0.0
内	東田沢	60	17,000	283	60	5,000	4, 500	2, 500	12,000		18		5	3.6	12, 018	0.0
	小湊	100	12, 200	122	100	8,000	3,600	600	12, 200						12, 200	0.0
町	清水川	87	22,000	253	85	8,500	5, 500	1,500	15, 500						15, 500	0.0
	小 計	400	87, 200	218	398	39, 532	22, 094	6, 450	68, 075		18		5	3.6	68, 093	0.0
9	野辺地町	56	18, 000	321	57	800	1, 200	16, 000	18, 000		未定	未定	未定	_	18, 000	_
†	黄 浜 町	61	7, 758	127	62	764	1,818	5, 176	7, 758						7, 758	0.0
ŧ	ひっ市	33	5, 450	165	33	3, 750		700	4, 450		1, 000	R6. 4	100	10.0	5, 450	0. 2
J	内 町	43	3, 698	86	43	136		1, 707	1,843		350	R6. 4	52	6. 7	2, 193	0. 2
Į.	協野沢村	27	3, 700	137	27	900	1, 200	300	2, 400	800	70	R6. 4	30	2.3	3, 270	0.0
í	合 計	852	222, 255	261	862	116, 800	26, 312	32, 784	175, 895	800	1, 538		247	6. 2	178, 233	0.0